

平成29年度湘南地区意見交換会概要

開催日時 平成29年9月23日(土) 午後1時30分～3時50分

開催場所 コミュニティセンター湘南 大会議室

出席者数 地区内住民：67名 行政職員：19名

1. 後藤会長あいさつ

湘南地区の意見交換会は今回初めて60名を超えた。みなさんの地域への関心が高まってきている証拠だと思う。

湘南地区は2年前から、今までの要望は自治会が直接行政に相談に行き、地区全体の課題等についてこの場で考えていけるようにするため、市民集会の形を変えて意見交換会として取り組んできた。各自治会長も積極的に市役所に出向くようになり、地域全体がよい方向に動いている。

今日は行政を問い詰めるのではなく、湘南地区が将来にわたってよくなるよう、建設的な意見交換会にしたい。



2. 服部市長あいさつ

今日は非常に大きなテーマでの話し合いだと思う。忌憚のない意見交換会を行い、市としてもこれからのこの湘南地区の何を課題として認識し、国や県とも協議をしていくのか、そんなことの一部が見えればと思っている。
※あいさつとともに、資料に沿って市の財政状況等について説明を行った。



3. 第一部：テーマ別意見交換

(1) (仮称) 柳島スポーツ公園の進捗状況について

【市からの説明】

(仮称) 柳島スポーツ公園は平成30年3月25日の開園に向け、計画どおりの工事を進捗させている。鉄砲通り北側の歩道拡幅工事については、道の駅との関係があり整備の時期を約1年ずらしたが、施工事業者も既に決定し、工事に着手するところ。

今回の事業は本市で初めてとなるPFI事業で、設計から建設、完成後の20年間、維持管理、運営まで含めた一体の契約となっている。茅ヶ崎スマートウェルネスパーク株式会社がその事業を担っている。ソフト面の検討については、2月から3月にかけて、「(仮称) 柳島スポーツ公園等の運営の基本的な考え方」についてパブリックコメントを実施した。

施設の特徴は、市営の他のスポーツ施設にはない夜間照明。これにより、早朝から夜間まで幅広い時間帯で利用できる。また、人工芝や全天候型のトラックを採用することにより、年間を通じて利用できる日数を増やし、利用者のニーズに応えた施設となっている。公園そのものは出入り自由。また、年間を通じて様々な大会やイベントを予定。

平成30年3月25日、開園記念イベントを実施。地域のご協力を期待している。また、その後、約1週間は開園ウィークとして開園を記念する大会や本格的なフィールドイベントを検討中。また、この公園の知名度を上げる試みとして、PFI事業者の民の活力、力を活用するという事も考えている。今後とも地域のみなさまのご協力をお願いしたい。

【意見交換内容】 ※○は地域、●は行政の発言

- 地域が利用しやすいような内容にして欲しい。例えばまちぢから協議会として運動会を行えるとか、子ども達が体験できるイベントを企画してもらおうなど。
- 今後調整、検討していきたい。
- 優先予約等についてどうなっているのか。
- 第一段階として市で主催するようなもの。あとは育成団体の方々、体育協会の方々、市全体を通しての体育の振興を目的とする方々の主催の事業。そして、PFIとして事業者による事業、これについては、皆さんの活動に極力協力をしていただいてということで、皆さんが使いやすいスポーツ公園となるような形で予約を順位づけて先行して入れている。
- パブコメの主な意見は。
- 柳島スポーツ公園の管理、利用面に関する意見、それ以外に料金の意見が多数を占めていた。
- ナイター照明による近隣の農作物の影響は。
- 夜間照明の点灯時間は夜の10時までにする。また、制限の2.0ルクスを超えないようにということに対応している。
- 陸上競技は陸連公認のトラックになっているか。
- 日本陸連の公認をとる予定で進行中。公認の基準は第4種の予定。
- 屋内競技場はあるか。
- 予定していない。レストラン、スタジオなどがある。
- 防災機能はどのようになっているか。
- 広域避難場所の指定を受けるべく、今調整をしている。また、防災備蓄庫を用意し非常時に必要な備品等を用意している。防火水槽が何カ所か設けられているが、非常時には飲料用に転用しながら使っていくようになっている。災害時には自衛隊の拠点、リコプターの離着陸場として

も考えている。

○小学校に対する環境の配慮はどうなっているか。

●小学校との間に緩衝帯を設けたり、また、車の駐車に当たってはアイドリングストップの看板を設置する予定。騒音については、開園後は、恐らく騒音が大きく発生する大会等は土日の開催になるため、小学校に対する大きな騒音源になるとは考えていない。影響があるようであれば、学校と相談しながら対応していく。

○以前にも提案したが、柳島小学校の西門の再整備と、西門からスポーツ公園に続く通路の整備をお願いしたい。

●西門は3月オープンを目指して教育委員会と調整中。公園に続く通路についても整備していく。

(2) 公共交通網について

【市からの説明】

これまで、6回ほど地域と一緒に勉強会を開きながら検討し、その中で産業道路にバスをということで、事業者と検討を進めてきた。その結果、現時点でバス事業者とは、産業道路、中島地区に転回場所が確保できればバスの運行は可能ということで合意はできている。現在、その転回場の確保に向けて、関係者の方と協議を進めている。

市としてはまず不便地区を解消するというのを念頭に置きながら、また一方ではスポーツ公園、道の駅、それからハマミーナなど各種施設も念頭に入れながら計画を進めたい。事業者は事業者なりの事情がある。交通管理者である警察の指導もある。その辺をしっかりと詰めていきながら、少しでも早く解消を進めたいと思う。

そのためにはやはり地域の方の力もいただかないとできないところがあるので、今後とも協力のほどお願いしたい。

【意見交換内容】

○コミバスはどうなってしまったのか。

●中島地区にコミュニティバスを通すことも選択肢の1つとして当然検討してきた。その中で、地域との勉強会等も含め、コミュニティバスが入っていけるような状況はないというのを確認し、やはり路線バスを有効に使ったほうが地域のためになるということで進めている。決してコミュニティバスを止めたわけではなく、今一番有効なのは、路線バスの運行を優先することだと考えている。情報提供がしっかりとなされていなかったというのもあるので、今後とも中島地区の自治会、まちぢから協議会などに随時情報交換をさせていただきながら進めていきたい。

○路線バスは鉄砲通りを通過して直接行くのか、産業道路を使って検討しているのか。現状浜見平が終点になっているが、その先がある。普通に考えれば、いわゆるスポーツ公園が終点になると思うが。

●現在、浜見平団地の終点から延び、柳島小学校の前を通過して中島中学、産業道路へ行って、少し行ったところで転回をして、また戻るとというのが市の案で、それが一番地域の皆様のためにはよくなると思っている。ただ、確定ではないので、まだこれからいろいろ協議を進めていく。今後スポーツ公園や道の駅ができるが、そこでどれだけの人がバスを利用することになるのか、それをある程度見極めながら、例えばどのくらいのをやるのか、イベントに絡めて臨時バス等を運行することで対応するのか、その辺は今後、協議を継続していかなければいけない。

○バス路線について、人が集まるということが確定してからつくるのではなくて、先につくってお

いて集めるという努力のほうが大事なのではないか。

- 車で来られる方もいるし、バスを使って来る方もいる。バスを使って来られる方がどのくらいかというのはやはり少し見てみないとわからない。また、事業者と話しをすると事業性というか採算性という話が必ず出てくるので、そこも考えなければいけない。もう1点、バス業界が深刻な状況にあるのは運転手がいないということ。運転手が足りなくて、どこのバス事業者も今、運転手確保にすごく力を入れている。事業者からすれば、むやみに新規ルートをつくったり、ダイヤを増やすということが現実的に今できないということもある。その辺も踏まえながら、何とかこの辺をよくしていくように努力はしていきたい。

○駅から出てぐるっと回ってまた駅に戻る、その内回り・外回りを是非考慮してほしい。

- バスは距離が長くなればなるほど時間どおり来なくなる。本数もずっと減らされてしまうこともあるので、利用者の方のことを第一に考えると、そういう課題も考慮しながら検討することになる。買い物等で困る方も結構いると認識している。公共交通は、そういうところも重要な視点のため、今後も引き続きしっかりと認識して取り組んでいきたい。

(3) 相模川築堤整備について

【市からの説明】

相模川は神川橋から下流の部分が国の直轄管理になっており、市と国が連携しながら事業を行っている。平成29年8月現在の国の直轄管理における堤防整備状況は、全体で約81%、左岸側、茅ヶ崎側の方で約65%、平塚側の右岸側の方で97%の整備率となっている。

相模川左岸の具体的な整備状況について、用地取得状況は関係者ベースで約96%、事業面積ベースでいくと約89%の用地買収が終わっている。中島地区は新湘南バイパスⅡ期工事よりも先に整備をしてほしいと、市としても強く要望をしている。国も、堤防の早期整備に向けて関係各所と調整を進め始めているところ。

昨年10月、相模川大規模氾濫に関する減災対策専門部会で、相模川の減災に係る取り組み方針を策定し、平成32年度を目途にこの5年間で達成すべき目標を定めた。この方針の中で、国道1号よりも上流の未整備区間について位置付けている。32年度までに工事を終わらせたいという目標を立てている。

市として、特に国道1号の下流も含めた堤防の一刻も早い整備、それから、未整備箇所の整備事業方針を明らかにしてほしいということを強く要望している。また、相模川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を住民に知らせるため、ハザードマップの作成を進めており、今年の12月に全戸配布を予定している。同様に、この最大規模の高位によって相模川が氾濫した場合の洪水災害を念頭に置き、住民の避難に関する取り組みを、氾濫発生前から時系列に整理した市役所内における事前防災行動計画、通称タイムラインの作成を今年度中に完成させるため、今現在進めている。

【意見交換内容】

○50年ほど前にあった地区提案は現在どうなっているのか。

- 相模川整備について、全体的な整備計画というものが今までなかった。その中で、今回初めて、

特に下流部分に関してどういう整備をいつやっていくのかという議論を始めた。その部分を踏まえて、どのような形態でやるのか示したい。市としても強く働きかけていきたい。

- JRの北側の築堤については、ようやく32年の末という数字が出てきたので安心した。南側は、私たちの情報によると今の相模川河畔スポーツ公園が2年間また開放するというような話がある。本来であればスポーツ公園は、堤防をつくるためにあけると言いながらそれを利用するというのは、築堤が遅れるのではないかなど考えるがいかがか。
- 今の河畔スポーツ公園をあけて一日でも早く造っていただきたいというのは当然強く認識している。しかし、あの周辺は民地も含めて50ぐらいの地権者がいる。工事はある一定区間工事ができる状況になって初めて行われる。そういったことを考え、この1~2年で暫定というところで考えている。占有の区切りがつき次第国に返して進めていく。

(第1部終了：休憩)

4. 第二部：自由質問

【産業道路地下道の落書きについて】

- 男性I 産業道路の地下道の落書きをどうにかして欲しい。
- 神奈川県藤沢土木事務所には話は再三している。地下道の壁面については、市と地域の方が協力しながら、例えば壁面を消しながら子どもたちが絵を描くとか、いろいろなことを試みている。まちぢから協議会と藤沢土木事務所と市で、今後の方向性等相談はできる。落書きを消すだけではなく、その後どうしていくかを地域と一緒に考えたい。
- まちぢから協議会の定例会の中でもそういう話がでてくる。例えば浜見平のしろやま公園のところに中学生が絵を描いてくれるなど、そういうことができないのかということで、今、相談をしている。地域ができる範囲で、県との調整もありますが、検討している。

【開発に伴う国道134号の渋滞について】

- 今後、この周辺の開発によるスポーツ公園、道の駅付近の交差点、信号の設置等どう対応していくのか。
- 柳島2丁目から134号までの区間について、神奈川県警との協議、あるいは神奈川県との協議の中で信号というものは設置をされません。今回は北側の歩道の拡幅になりますが、道の駅を将来的に整備する際には、今度は南側の歩道も整備していきたいと考えている。
スポーツ公園については、今、工事をしているところの一番東側に車両の出入り口があるが、信号等はない。柳島2丁目、柳島小学校に曲がる場所に1つ、134号と鉄砲道が交差する部分に1つ信号がある。その間に信号は特にできない。
- 警察と相談しますということだが、相談結果もまだないので、どのように現在対応するのか、それを教えていただきたい。
- この周辺の交通環境問題は、国道、高速道路、市道が交差する大きな問題。今の段階では、道の駅と柳島スポーツ公園ができるに当たって将来を推計してそこに交通の負荷がかからないような設計で、動線が決まった。それで右折レーンをつくったり、一部車道を広げたりする。今後この圏央道が横浜に延びる、横浜湘南道路と接続する動きもある。これは国としても、大きな課題として認識し始めている。ここの問題はこの2つの施設とは別に、やはり市もしっかりと国と県と問題を解決していきたいと考えている。

【津波対策について】※時間的制限があるため、別の場を検討することとなった。

○いろいろな新しい施設ができる、この地域を開発していこうというときに、市は総合的に津波の問題をどう考えるのか。

●地区の防災拠点については、公立の小中学校を位置付けておりますが、津波対策などの状況によりましては変更も考えて、臨機応変に対応していく必要がある。まず間違えていただきたいのは、避難生活を送る避難所と、津波の危険から一時的に逃れていただく津波の一時退避場所と、これは役割が違うということ。何が何でも津波が来れば小中学校、ましてや海や河川に向かって避難するといったのは、これは正しい避難行動ではない。

【その他】

○大雨などで崩れてしまいそうな道路がある。一日でも早く何とかして欲しい。

●まずは現地を確認し対応する。

○藤間柳庵氏のご遺族が土地と建物を市に寄付してくれた。有効活用して欲しい。

●歴史と文化、その植生も含め、地域とともに茅ヶ崎全体にそこから波及できるような取り組みを検討したい。

○スポーツ公園は24時間入れるということだが、治安悪化とならないよう防犯対策をお願いする。

○今年度88歳の祝い金が無くなった。今の高齢者はみな元気だから理解できる。むしろこういふときこそ発想を変えて、元気にしてこられたのは家族、地域、市のおかげと感謝をして納税をするぐらいでもいいのではないか。それで扶助費を負担できたら、みんな元気で頑張ろうとなるのではないか。

5. 市長のまとめ

- ・公共交通については、この地域の中で高齢化が進み、いろいろな意味で外出に困る方が増えていくのだということの実態も十分承知をしている。一定の時期に、こういった形でということをご相談させていただく機会ができると思う。
- ・渋滞対策について、これは国、県とも共有化しながら、今、違う次元での解決策を考えていこうとしている。皆様方にご相談できるような熟度の段階で、また意見交換をしたい。
- ・相模川の築堤の問題は、国道以北の部分についての対応の目途がきつきつあるという中で、次にその以南のところについての整備時期、目標時期についての意識は持ってくれている。今年度中にまとめようとしている相模川の整備計画で考え方についてある程度は踏み込んでいきたい旨を、京浜河川事務所長も約束してくれている。これが年度内に叶わないときには、市としても新たな取り組みをさせていただきたいと思っている。まずは皆さんの命を守っていただくということが一番だと思っている。また、堤防の整備ができるまでは自分の命は自らが守っていただく、また、地域全体で守っていただくことが大事。皆様と命を守るということは最優先しながらやる。

6. 閉会のあいさつ（湘南地区まちぢから協議会副会長）

多くの意見や要望が沢山出た。言い切れないことがたくさんあると思う。ここで出せないことは直接、自治会単位で市役所と話をすることも重要だと思う。これからも市といろいろなことを共通で考えていきたい。今日は本当にありがとうございました。